

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| 名称：百合丘ルミナス保育園 | 種別：認可保育所 | |
| 代表者氏名：金 敬淑 | 定員（利用人数）： 50名（60名） | |
| 所在地：〒215-0011川崎市麻生区百合丘1-19-2星ビル3階 | | |
| TEL：044-969-5258 | ホームページ： https://www.yoikode.com/product/yurigaoka/ | |
| 【施設・事業所の概要】 | | |
| 開設年月日 2017年4月1日 | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アイオル | | |
| 職員数 | 常勤職員：16名 非常勤職員：9名 | |
| 専門職員 | （専門職の名称） 保育士：園長 1名 保育士：主任、副主任 3名 保育士：16名 看護師：1名 栄養士（内管理栄養士）：2名（1名） 調理員：1名 子育て支援員：1名 | |
| 施設・設備の概要 | （居室数） 乳児室（0～2歳児室）：3室 幼児室（3～5歳児室）：1室 沐浴室：2室 調理室：1室 トイレ：3室 事務室：1室 職員休憩室（更衣室）：1室 | （設備等） 鉄骨造り7階建ての2階、3階 建物延床面積：303㎡ 園庭：138㎡ |

③ 理念・基本方針

【保育理念】

子どもの「生きていける力」を育みます。

今だけを見るのではなく、子どもたちの未来を見据え、その子が大人になったときに、一人の人間としてしっかりと生きていくことができるように、今できる最善の環境・体験を提供します。

【保育方針】

①笑顔で接し、優しく語りかけ、認めて褒めて大きくする。

②子どもだって小さな社会人。

笑顔で優しくかたりかけられることで子どもは安心感共に先生のことが大好きになり、子どもとの信頼関係も深まります。大好きな先生から認められて褒められることで自分にもできるという自信につながります。何か1つでも得意なことを見つけてあげて、認めて褒めて子どもの自信につなげてあげられる、そんな保育環境を提供していきます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

(立地および施設の概要)

百合丘ルミナス保育園は、平成29年4月に開設し、小田急線の百合丘駅から徒歩3分に位置する7階建てビルの2階と3階にあります。保護者にとって利便性が高い場所にあります。百合丘周辺には保育園が多く、子育て世代も多いことから、この地域では子育て相談がしやすい環境となっています。0歳から5歳まで定員50名のところ60名が在籍しています。百合丘ルミナス保育園の設立経緯は、平成13年に個人立の地域保育園を開園した後、平成15年に有限会社を設立し、平成19年に株式会社に組織変更しています。平成21年に川崎市認定保育室の指定を受け、平成29年に認可保育所となっています。法人は、川崎市内に認可保育所3園、川崎市認定保育室2園、東京都江東区に東京都認証保育所1園を運営しています。

【園の特徴】

ビル内の保育園のため、子どもたちは近隣の12か所の公園で戸外遊びを楽しんでいます。天気の良い日は、子どもたちの意見を聞いてどこの公園に行くかを決めて散歩に出かけ、公園で思い切り走りまわっています。一日に2回散歩に出かける日もあります。保育内容は、英語遊び、サッカー遊び、ヒップホップ調のリズム遊び、0歳児からのクッキング食育等を実施しています。保育サービスは、乳児保育・障がい児保育・延長保育を実施しています。職員は、会議を円滑に進行する討議技法の「ファシリテーター技能研修」を継続的に学び、経験の浅い職員は、産業カウンセラーから「アサーション・トレーニング」を学ぶなど、コミュニケーションスキルを充実させています。

⑤ 第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 評価実施期間 | 2022年7月1日（契約日）～ 2023年4月8日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1回（今回が初めて） |

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 保護者支援の工夫

園は「保護者連絡用アプリ」を導入して6年目となり、0～2歳児は連絡ノートのほかに個別の記録を、3歳児以上は活動記録を配信し、細やかなコミュニケーションをとっています。職員は、朝夕の短い時間でも、保護者の気持ちに寄り添った言葉かけと保護者の様子を観察し、保護者の不安や相談事があれば気兼ねなく安心して相談出来るよう配慮しています。保護者とは、懇談会や個別面談等を通じて、園の保育内容や取組を伝えています。運動会は、0～2歳児は動画で配信、3、4歳児は保護者一人の参加、5歳児は保護者二人の参加で開催しています。また、初めて入学を迎える保護者には「小学校入学準備講座」を園で開催し、園長から保育園との環境の違い、持ち物や生活習慣の違い等を説明し、保護者の不安軽減に努めています。

2. 保育の内容と質の向上

園の保育理念に「人と関われるコミュニケーション、自分で考えられる主体性、好きを見つけられるプチキャリア」を挙げ、子ども一人ひとりを受け止める保育に努めています。5歳児は、子ども会議を開催し、自分の意見をしっかりと話す、そして相手の気持ちを尊重するという体験を重ね、一人ひとりの個性を伸ばす取組をしています。ヒヤリハットのパネルを見て、どこが危ないかを探して意見交換する場面もあります。職員は、1週間前に指定されたテーマの保育を行い、互いの保育を他者評価する園内研究保育を毎月開催し、保育の質向上につなげています。

3. 中・長期計画等の整備の検討

法人は、理念や各園の基本方針を踏まえて経営方針を作成しており、5年後を見据えた経営方針として「今だけでなく未来を見据て」を根底に ①「理念を深める」、②「働き続けられる職場を目指して」の2つを掲げています。中・長期計画として、これらの実現に向けて保育内容、職員体制、人材育成等の課題を明らかにし、達成時期・数値目標・収支計画を明確化することが期待されます。

4. 地域子育て支援の取組の検討

長引くコロナ禍の影響もありますが、民生児童委員等と連携し、地域の福祉ニーズを積極的に把握し、地域の子育て関連の育児講座、育児相談、食育講座等につなげる取組が望まれます。

5. 法人作成の人材育成ビジョンをベースにした職員育成計画の検討

法人作成の人材育成ビジョンをベースにして、職員の経験年数や職位に応じて、保育・安全・保護者対応・倫理等の必要分野別に必要な知識・資格・研修項目等を明示し、これに沿って職員各自の年間研修計画を立案、実施、フォローすることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

平成13年に認定保育園として開園後、認可保育園に移行し今年度で22年目の園となりました。

日々の園運営を行う中で、客観的な視点を持つことは難しく、自園の保育や取組を第三者の視点から見ていただき、見直す機会になればと思い、第三者評価を受審することになりました。評価表にそって職員と話し合いを進めていき、様々な分野・視点から客観的に保育を見つめ直す機会になりました。

園としての評価を作成していく中で、保育士は子ども達の育ちに携われることに改めて喜びと責任を感じ、この立場として職員に伝え続けること、そして保育士は未来を担う子ども達を育む仕事だという事も伝える重要性を感じました。

保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき感謝申し上げます。コロナ禍で行事を縮小、制限する中で、保護者の皆様へ日頃の保育を理解していただく機会が減ったにも関わらず、70%以上の家庭が園の取り組みを知っていると回答いただき、皆様からの貴重なご意見として受け止め今後も期待と信頼により応えられるよう努めていきたいと感じました。

今回の評価で課題となった点として、地域の子育て支援やニーズをよりの確に把握し、育児相談、食育講座等を開催して保育所としての地域の役割を果たすため、保育士育成に繋がる研修体系の構築を進めていきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の第三者評価の経験を活かし、今後は更に職員一丸となって子ども・保護者の皆様・地域に寄り添う保育を目指していきたいと思えます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり